証明書インポートツール操作マニュアル

Version 1.13 2024 年 3 月 10 日

セコムトラストシステムズ株式会社

© 2011 SECOM Trust Systems CO., LTD.

		改版履歴
版数	日付	内容
V. 1. 00	2011/03/31	初版発行
V. 1. 10	2013/04/04	動作条件のオペレーティングシステムに Windows 8を追加。また、動
		作条件のブラウザーに Internet Explorer 9,10 を追加。
V. 1. 11	2019/04/11	文言と画像の修正
V. 1. 12	2022/07/10	証明書インポート時の挙動変更を追加
V. 1. 13	2024/03/10	Windows 8.1・Internet Explorer 関連記述の削除
		グローバル IP アドレスの変更
		文書体裁の修正

目次

1.	. はじめに	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	1
2.	. 証明書のインホ	ペート手順	2
	2.1. 契約者番号	}・利用者 D・パスワードの準備	2
	2.2. アクセスの)確認	3
	2.3. 証明書イン	∕ポートツールのダウンロード	3
	2.4. 証明書イン	∕ポートツールの起動	4
	2.5. インポート	ヽされた証明書の確認(証明書確認ページ)	6
	2.6. インポート	ヽされた証明書の確認(インターネットオプション)	8
3.	. トラブルシュー	-ティング	. 12
	3.1. 『115:デー	- タの問い合わせに失敗しました。』	. 12
	3.2. 『550:証明	月書ファイルは取得できませんでした。認証に失敗しました。』	. 13
	3.3. 『550:証明]書ファイルは取得できませんでした。証明書が作成されていないか、もし	くは
	既に証明	明書を取得済みです。』	. 14
	3.4. 『305:証明	月書をインポートできませんでした。』	. 15
	3.5. 『確認ペー	-ジ』が表示されない。	. 16

1. はじめに

証明書インポートツール操作マニュアル(以下、本マニュアル)は、セコムトラストシステムズ 株式会社(以下、セコムトラストシステムズ)が提供する証明書インポートツール (certimport.exe)の利用方法を記載したマニュアルです。

証明書インポートツールは、Web ブラウザーを使用しないでクライアント証明書のインポート を自動的に行うためのツールです。

証明書インポートツールをご利用のお客様は、本マニュアルの手順を行って証明書を取得して ください。

[動作条件]

▼ オペレーティングシステム

日本語 Microsoft® Windows® 11

日本語 Microsoft® Windows® 10

※Windows To Go機能につきましては、動作保証対象外です。

▼ 必須ソフトウェア 証明書インポートツール(certimport.exe)

※本マニュアルの操作手順は、Microsoft Windows10 を使用して作成しております。 ご利用の OS によっては、本マニュアルの画面と多少異なる場合がございます。

1

2. 証明書のインポート手順

本章では、証明書インポートツールをどのように入手し、どのように使用して証明書をインポ ートするか手順をご説明します。

手順の概略は次のとおりです。

- 1. 契約者番号・利用者 |D・パスワードの準備
- 2. 証明書インポートツールのダウンロード
- 3. 証明書インポートツールの起動
- 4. インポートされた証明書の確認

2.1. 契約者番号・利用者 |D・パスワードの準備 証明書を取得するためには、『法人インターネットバンキングサービス』でご利用の以下の 3 つ の情報を事前に準備する必要があります。

- (1) 契約者番号
- (2) 利用者 ID
- (3) 証明書取得用パスワード

これらの情報に関するご不明点につきましては、サービス提供元へお問い合わせください。

2.2. アクセスの確認

証明書のインポートを始める前に、アクセスの確認を行ってください。

証明書のインポート操作を行うパソコンから、以下3つの URL にアクセスできることを確認し てください。

https://webra2.secomtrust.net/

http://repo1. secomtrust. net/

http://repository.secomtrust.net/

【アクセスができた場合】

本マニュアル「2.3. 証明書インポートツールのダウンロード」へお進みください。

【アクセスができなかった場合】

・ウィルス対策ソフトなどの影響により、アクセスができない可能性があります。

⇒ソフトを一時停止し、上記3つの URL に再度アクセスをお試しください。

・ネットワークの設定により、アクセスが制限されている可能性があります。

⇒アクセスが正常に行えるように、ネットワークの設定を変更してください。

2.3. 証明書インポートツールのダウンロード

以下の URL に Web ブラウザーでアクセスし、証明書インポートツールをダウンロードしてくだ さい。

◆ 証明書インポートツール ダウンロードサイト https://webra2.secomtrust.net/scira/doc/kkb/import.html

証明書インポートツールは ZIP 圧縮された状態でダウンロードされるので、ZIP を解凍した上で、証明書インポートツールを実行してください。

- 2.4. 証明書インポートツールの起動
- (1)証明書インポートツールを起動すると、以下の画面が表示されます。
 『法人インターネットバンキングサービス』でご利用の①契約者番号、②利用者 ID、
 証明書取得用パスワードを③パスワードに入力し、④OK ボタンをクリックしてください。

№ 証明書インポート	\times
お客様用に発行された証明書をインターネット経由で取得し、 Windowsへのインボートを行います。	
契約者番号:	
利用者ID: ②	
パスワード: 3	
パスワード欄には、証明書を初めて取得する場合は、「証明書取得用 パスワード」を、更新される場合は、ご利用中の「ログインパスワード」を 入力してください。	
④ OK キャンセル	

処理中を表す画面が表示されます。しばらくそのままでお待ちください。

😒 証明書インポート	\times
お客様用に発行された証明書をインターネット経由で取得し Windowsへのインボートを行います。	~
証明書をインボート中です。 しばらくこのままでお待ちください パスト パスト 入力 o c vicco vo	拥 jē
OK キャンセル	

(2) 証明機関(CA)から証明書インストールを促されます。
 ①拇印(sha1)に記載された情報が以下の英数字の羅列であることを確認してください。
 拇印(sha1): 40A6C237 3D05322D 64087065 04F141D0 0775CD57

確認後、②はい(Y)ボタンをクリックしてください。

セキュリテ	1 管告	×
	発行者が次であると主張する証明機関 (CA) から証明書をインストールしようとし ています:	
	Yamaguchi Financial Group CA G2	
	証明書が実際に "Yamaguchi Financial Group CA G2" からのものであるかどう かを検証できません。 "Yamaguchi Financial Group CA G2" に連絡して発行者 を確認する必要があります。 次の番号はこの過程で役立ちます:	
1	拇印 (sha1): 40A6C237 3D05322D 64087065 04F141D0 0775CD57	
	警告: このルート証明書をインストールすると、この CA によって発行された証明書は自動 的に信頼されます。確認されていない拇印付きの証明書をインストールすることは、 セキュリティ上、危険です。[はい] をクリックすると、この危険を認識したことになりま す。 この証明書をインストールしますか?	
	(はい(Y) いいえ(N)	

※すでに証明機関(CA)がインストールされている場合は、上記画面は表示されません。

(3) ①OK ボタンをクリックしてください。



以上で証明書のインポートは完了しました。

ここまでの手順でエラー画面が表示された場合は、本マニュアル「3. トラブルシューティング」をご参照いただき、発生したエラーごとの対処を行ってください。

- 2.5. インポートされた証明書の確認(証明書確認ページ)
- (1) 証明書インポートツール ダウンロードサイトから、『証明書確認ページ』のリンクをクリック してください。

証明書確認ページ
以下のURLIこアクセスいただくと、証明書が正常にインポートされているかを 確認することができます。
https://webra1.secomtrust.net/scira/doc/ymfg/

◆ 証明書確認ページ

https://webra1.secomtrust.net/scira/doc/ymfg/

(2) 証明書の要求が行われますので①ダウンロードした証明書を選択し、②OK ボタンをクリック してください。

※お客様の環境により、以下のダイアログが表示されず、以下の手続き(3)の画面が表示されることがありますが、確認作業には影響はございません。



(3) 証明書が問題なく取得されていれば、以下の画面が表示されます。

証明書確認ページ - Certificate Test Page -	
このページにアクセスできたということは、証明書が正常にインボートされています。	
As you can access to this page, this means that your certificate was successfully imported.	

以上で、証明書発行は完了しました。

証明書確認ページが表示できていれば、証明書をご利用いただける状態になっています。 以降 2.6の操作は、インターネットオプションから、取得した証明書を確認するための手順で す。取得した証明書の状態を確認したいときは、以降の操作を行ってください。

- 2.6. インポートされた証明書の確認(インターネットオプション)
- Windows のメニューから、①Windows システムツールの、②コントロールパネルを選択してください。



(2) 表示方法がカテゴリであることを確認し、①小さいアイコンもしくは、大きいアイコン を選 択してください。



(3) ①インターネットオプションを選択してください。

当すべてのコントロール ハイル項目 ← → × 本 図 → コントロール /	《ネル → すべてのコントロール パネル項目			- 0	
			• 0		
コンピューターの設定を調整しま	ġ.		表示方法: /	小さいアイコン 🔻	
🏘 BitLocker ドライブ暗号化	ے ا	🍰 Java (32 באי)	🐻 RemoteApp とデスクトップ接続		
Mindows Defender	🏭 Windows To Go	🔗 Windows ファイアウォール	🖷 Windows モビリティ センター		
🔂 インターネット オブション	🚨 インデックスのオブション	🖳 エクスプローラーのオプション	□□□ キーボード		
🕒 コンビューターの簡単操作センター	🖷 サウンド	🔜 システム	陀 セキュリティとメンテナンス		
🖳 タスク バーとナビゲーション	💷 ディスプレイ	昌 デバイス マネージャー	📾 デバイスとプリンター		
📧 トラブルシューティング	🕎 ネットワークと共有センター	🐌 パックアップと復元 (Windows 7)	🍙 ファイル履歴		
A フォント	👩 プログラムと機能	・◀ ホームグループ	⑦ マウス		
◎ メール	🎎 ユーザー アカウント	📑 ワーク フォルダー	◎ 音声認識		
🐼 回復	🚵 管理ツール	🐻 既定のプログラム	昌 記憶域		
📌 言語	🚅 個人用設定	◎ 資格情報マネージャー	📑 自動再生		
💶 色の管理	፪ 赤外線		🎯 電源オプション		
🛄 電話とモデム	🔇 同期センター	🔮 日付と時刻			

(4) ①コンテンツタブより、②証明書(C)ボタンをクリックしてください。

インターネットオプション	?	×
全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定	Ē	
証明書		-
□ 暗号化された接続と識別のための証明書を設定します。		
SSL 状態のクリア(S) 証明書(C) 発行元(<u>B</u>)	
オートコンプリート2		-
オートコンプリートによって、Web ページで前回入 設定()		
フィードと Web スライス		_
フィードと Web スライスは、Web サイトの更新さ 設定(N れたコンテンツを Internet Explorer やその他の)	
プログラムで表示します。		
OK キャンセル	適用(/	4)

(5) ①個人タブより、②インストールされた証明書をダブルクリックしてください。

目的(N): ◆ 〈すべて> ◆ ◆ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	証明書					×
個人 ほかの人 中間証明機関 信頼されたルート証明機関 信頼されない発行元 発行先 発行者 有効期限 フレヘ (二)000000001TEST0008/ Yamaguchi Financial Group CA G2 く (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二)	目的(N): 1	<すべて>				~
全行先 年行者 有効期限 7L ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	個人 ほかの人	中間証明機関	信頼されたルート証明機関	信頼された発行元	信頼されない発行	元
Comparison of the second secon	発行先		発行者		有効期限	<u>1</u> ^
2 < 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	🔄 000000001T	estooo8i	Yamaguchi Finan	cial Group CA G2		<73
 インボート(I) エクスボート(E) 削除(R) 詳細設定(A) 証明書の目的 クライアント認証 表示(V) 開じる(C) 	2					
 インボート() エクスボート(E) 削除(R) 詳細設定(A) 証明書の目的 クライアント認証 要示(V) 開じる(C) 						
 インボート() エクスボート(E) 削除(R) 詳細設定(A) 証明書の目的 クライアント認証 要示(V) 閉じる(C) 						
 インボート() エクスポート(E) 削除(R) 詳細設定(A) 証明書の目的 クライアント認証 表示(V) 閉じる(C) 						
< > ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓						~
インボート() エクスポート(E) 削除(R) 詳細設定(A) 証明書の目的 クライアント認証 表示(V)	<					>
インボート() エクスボート(E) 削除(R) 詳細設定(A) 証明書の目的 クライアント認証 表示(V) 閉じる(C) 間じる(C)						
証明書の目的 クライアント認証 表示(V) 閉じる(C)	インポート(I)	エクスポート(E)	削除(R)		詳細設	定(A)
クライアント認証 表示(V) 閉じる(C)	証明書の目的					
表示(V) 閉じる(C)	クライアント認証					
閉じる(C)					表示(V)
閉じる(C)						
					閉じ	ට(C)

(6) 選択した証明書の内容が表示されますので、赤枠で囲まれた発行先および発行者に間違いが ないことを確認してください。

	証明書	×
£	殿 詳細 証明のパス	
	正明書の情報	
	この証明書の目的:	
	 注股 詳細 証明のパス ごの証明者の情報 この証明者の目的: ・リモート コンピューターに ID を証明する 発行先: 000000001TEST0008I 発行者: Yamaguchi Financial Group CA G2 有効期間 ② この証明者に対応する秘密キーを持っています。 発行者のステートメント(S) 	
(発行先: 0000000001TEST0008/)
	発行者: Yamaguchi Financial Group CA G2	
	有効期間	J
	📍 この証明書に対応する秘密キーを持っています。	
	発行者のステートメント(S)	
	ОК	

(7) ① 証明のパスタブより、赤枠で囲まれている 証明書の状態(S) が『この証明書は問題ありません。』となっていることを確認し、 ② OK ボタンをクリックしてください。

🗾 証明	 총				
全般	詳細	証明のパス	1		
証明]のパス(P)				
5] Yamagi	uchi Financial	Group CA G2]
	🔄 000	0000001TEST00	OTI800		
				証明書の表示(V)	1
証明書	身の状態(5):			
この証	[明書は間	題ありません。			
					-

(8) ①<mark>OK</mark>ボタンをクリックしてください。

インターネット オプション	?	\times
全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設分	Ē	
証明者		_
SSL 状態のクリア(<u>S</u>) 証明書(<u>C</u>) 発行元(<u>B</u>)	
オートコンプリート		-
オートコンプリートによって、Webページで前回入 設定(L 力した内容を、入力中に補完できます。)	
フィードと Web スライス		_
ノイードと Web スライスは、Web サイトの更新さ れたコンテンツを Internet Explorer やその他の プログラムで表示します。	D	
ОК ++775/1	適用()	<u>A</u>)

以上で証明書が正常にインポートされていることを確認できました。

3. トラブルシューティング

本章では、証明書インポートツールの実行中にエラーが発生した場合に、どのような対処を行 えばよいかご説明します。

エラーの一覧は次のとおりです。

- 1. 『115:データの問い合わせに失敗しました。』
- 2. 『550:証明書ファイルは取得できませんでした。認証に失敗しました。』
- 3. 『550:証明書ファイルは取得できませんでした。証明書が作成されていないか、もしくは既 に証明書を取得済みです。』
- 4. 『305:証明書をインポートできませんでした。』
- 5. 『確認ページ』が表示されない。
- 3.1. 『115:データの問い合わせに失敗しました。』

◆ エラー画面

証明書インポート	×
115:データの問い合わせに失敗し	ました。
	Ж

◆ 原因

このエラーは、証明書を取得するためのインターネット接続に失敗したときに発生します。 証明書インポートツールは、次の URL に自動アクセスして証明書等を取得するため、下記 接続先へのアクセス制限を行っていると、上記エラーが発生します。

項番	接続先	IP アドレス	プロトコル
1	webra2. secomtrust. net	165. 100. 2. 114	HTTPS
2	repo1.secomtrust.net	61. 114. 186. 157	HTTP
3	repository.secomtrust.net	61. 114. 177. 151	HTTP

◆ 対処

上記原因に記載された通信が正常に行えるように、ネットワークの設定を変更してください。

3.2. 『550:証明書ファイルは取得できませんでした。認証に失敗しました。』

◆ エラー画面



◆ 原因

このエラーは、入力情報(契約者番号・利用者 |D・パスワード)を間違えたとき、 また、パスワードがロック中のとき、パスワードの有効期限が切れているときに発生します。

◆ 対処

再度、証明書インポートツールを実行して、正しい入力情報を入力してください。 正しい入力情報を入力している場合でも連続してこのエラーが発生する場合は、 パスワードがロック中か、パスワードの有効期限が切れている可能性があります。 この場合は、証明書の再発行を行ってください。 3.3. 『550:証明書ファイルは取得できませんでした。証明書が作成されていないか、もしくは既 に証明書を取得済みです。』

◆ エラー画面



◆ 原因

このエラーは、既に証明書をインポート済みの状態で、再度、証明書インポートツールを 実行したときに発生します。

◆ 対処

証明書のインポートが完了していないにもかかわらず上記エラーが発生する場合は、 証明書の再発行を行ってください。

(証明書のインポートが完了しているか確認する手順は、本マニュアル「2.5 インポートされた証明書の確認」をご参照ください。)

3.4. 『305:証明書をインポートできませんでした。』

◆ エラー画面



◆ 原因

このエラーは、ご利用の端末の証明書格納先にアクセス権限が与えられていないときに発 生します。

◆ 対処

証明書を保存するフォルダーのアクセス権限を確認し、正しい権限を与えてください。 詳細の手順は次のとおりです。

- (1)「C:¥Users¥ {UserName} ¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥Crypto」フォルダーを開いてください。*
- (2) 「RSA」フォルダーを右クリックして、「プロパティ」を選択してください。
- (3) 「RSA のプロパティ」ダイアログが開きますので、「セキュリティ」タブを選択してくだ さい。
- (4)「{UserName}のアクセス許可」欄の「フルコントロール」が「許可」になっていることを 確認してください。「許可」になっていない場合は「許可」に変更し、「OK」ボタンをクリ ックしてダイアログを閉じてください。

*アカウント権限の設定により、隠しフォルダーになって見えない場合があります。

- 3.5. 『確認ページ』が表示されない。
- ◆ エラー内容

本マニュアル「2.5. インポートされた証明書の確認」を実施して、確認ページにアクセス すると、以下の画面が表示される。

Forbidde	en				
Your client is not	allowed to acce	ss the request	ed object.		

◆ 原因

ブラウザーのキャッシュに残ったデータが影響している可能性があります。

◆ 対処

以下の手順で SSL 状態をクリアし、すべてのブラウザーを閉じて下さい。 その後、改めて確認ページへのアクセスをお試しください。 (1) Windows のメニューから、①Windows システムツールの、②コントロールパネルを選択してください。



(2) 表示方法がカテゴリであることを確認し、
 ①小さいアイコンもしくは、大きいアイコン
 を選択してください。

🖭 コントロール パネル				-	х
← → < ↑ ← → ↓ / ↓ / ↓ / ↓ /	ターの設定を調整します	▼ ひ 表示方法 カテゴリ ▼			م
 <td>システムとセキュリティ コンピューターの状態を確認 ファイル風でファイリング・ファブコピーを保存 パックアップと復元(Windows 7) 問題の発見と解決 ネットワークとインターネット ネットワークの状態とタスクの表示 ホームのループと共有に関するオブションの選択 ハードウェアとサウンド デパイスの追加 共通で使うモビリティ設定の調整 プログラム プログラムの取得</td><td>ユーザーアカウント ● アカウントの種類の変更 デスクトップのカスタマイズ テーマの変更 時計、言語、および地域 言語の追加 入力方法の変更 日付、特別、まだは数値の形式の変更 コンピューターの簡単操作 設定の提案の表示 視覚ディスプレイの最適化</td><td>•</td><td></td><td></td>	システムとセキュリティ コンピューターの状態を確認 ファイル風でファイリング・ファブコピーを保存 パックアップと復元(Windows 7) 問題の発見と解決 ネットワークとインターネット ネットワークの状態とタスクの表示 ホームのループと共有に関するオブションの選択 ハードウェアとサウンド デパイスの追加 共通で使うモビリティ設定の調整 プログラム プログラムの取得	ユーザーアカウント ● アカウントの種類の変更 デスクトップのカスタマイズ テーマの変更 時計、言語、および地域 言語の追加 入力方法の変更 日付、特別、まだは数値の形式の変更 コンピューターの簡単操作 設定の提案の表示 視覚ディスプレイの最適化	•		

(3) ①インターネットオプションを選択してください。

- → < ↑ 🖾 > שאר-ש/ו	(ネル → すべてのコントロール パネル項目		5 ~	,	
コンビューターの設定を調整します			表示方法: 小さいアイコン 🔻		
😽 BitLocker ドライブ暗号化	💰 Java	🍰 Java (32 ビット)	🐻 RemoteApp とデスクトップ接続		
Windows Defender	🏪 Windows To Go	🔗 Windows ファイアウォール	🔄 Windows モビリティ センター		
🗟 インターネット オブション	🚨 インデックスのオブション	🔛 エクスプローラーのオプション	=== キ−ボ−ド		
😂 コンヒューターの簡単操作センター	🖬 サウンド	システム	陀 セキュリティとメンテナンス		
🖳 タスク バーとナビゲーション	💷 ディスプレイ	昌 デバイス マネージャー	📾 デバイスとプリンター		
🛋 トラブルシューティング	🕎 ネットワークと共有センター	🐌 バックアップと復元 (Windows 7)	🍻 ファイル履歴		
A フォント	👩 プログラムと機能	●�� ホームグループ	 マウス 		
◎ メール	🎎 ユーザー アカウント	📴 ワーク フォルダー	● 音声認識		
🔗 回復	🖄 管理ツール	🐻 既定のプログラム	昌 記憶域		
☞ 言語	🗾 個人用設定	◎ 資格情報マネージャー	■ 自動再生		
📮 色の管理	☞ 赤外線		☞ 電源オプション		
🔤 電話とモデム	🔇 同期センター	🔮 日付と時刻			
🥶 モの客理 🔤 電話とモデム		(● 地域) ● 日付と時刻	🦉 電源オノンヨノ		

(4) ①コンテンツタブより、②SSL 状態のクリア (<u>S</u>) ボタンをクリックしてください。

インターネットオプション	?	×
全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設け	Ē	
証明者		-
暗号化された接続と識別のための証明書を設定します。		
SSL 状態のクリア(S) 証明書(C) 発行元	<u>B</u>)	
オートコンプリート 🛛 🖉		_
オートコンプリートによって、Webページで前回入 設定())	
うしたりせを、ヘリーに補元できます。		
フィードと Web スライス		-
フィードと Web スライスは、Web サイトの更新さ 設定(L	D	
プログラムで表示します。		
OK キャンセル	適用(<u>A</u>)

- (5) すべてのブラウザーを閉じる。
- (6) 新しいブラウザーを開き、確認ページへアクセスする。

以上